

この教材見本は、実際の1カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の1カ月あたりの学習量は、1回30分×8回です。

この教材見本は1カ月分の一部を抜粋して掲載しています。下記の黒字が今回の掲載回です。

※テキストスタイルの見本になります。

※添削問題は、「一貫標準」「一貫発展」の問題を掲載しています。

中学国語スタート！

※現代文の構成です

- ① 要点学習
 - ② 応用学習 問題へのアプローチ
 - ③ 応用学習 読解演習
 - ④ 応用学習 知識トレーニング
 - ⑤ 応用学習 速読トレーニング
 - ⑥ 応用学習 記述トレーニング
 - ⑦ 添削問題 添削問題1
 - ⑧ 添削問題 添削問題2
- 巻末 添削指導例

要点

中学国語スタート! 要点

今回の単元を学習すると……

これから国語を学ぶ上で大切なポイントをつかみ、**ほんとうの読解力を自分のものにするための文章の読み方**が理解できます。

〔1〕文章の読み方

文章は、複数の文から成っています。それも、いろいろな文をただ集めたのではなくて、前の文と必ず何かのつながりをもった文を積み上げたものです。そうした文を積み上げることによって、筆者が主張したい内容を読者に伝える、ひとまとまりの文章となっているのです。

文章がもっている根本的な性質は、**文と文、段落と段落といった、部分と部分が内容的につながっているということ、つまり、論理性をもっているということ**です。

ですから、文章を読む側も、**その文章の論理性を追って**読まなければいけません。書かれた文章が論理性を備えているからには、それを読むのにも、論理をたどる読み方、つまり、**〈論理的な読み方〉**が必要になるのです。

文章は自分勝手に読まず、必ずその文章の論理をたどって読もう。

〔2〕ことばに強くなるよう

文章の論理をつかむには、文章を構成するひとつひとつの文の意味がわからなければなりません。そのためには、文章を構成していることばのもつ意味をわかっていなければなりません。**ことばの意味や働きがわかれば、文の意味も、前後の内容とのつながりもわかるようになります。**

とくに接続語は、前後の内容がどのようなつながっていくか、話がどのように展開していくかを示す鍵となることばですから、適当に読み流してはいけません。接続語が出てきたら、その意味と働きをふまえて、話がどう展開していくかを予測しながら読むようにしておきたいところです。

接続語とは…**言葉と言葉や、文と文をつなぐ役目をする言葉**

★**主な接続語とそのはたらき**

だから…**前の内容が、あとの内容の「原因」や「理由」となる**ときに使われる。

しかし…**前の内容から考えて、あとの内容が、当然ではないとき**に使われる。

しかも…**前の内容に、あとの内容をつけ加える**ときに使われる。
つまり…**前の内容を、あとで説明したり、言い換えたり**するとき
に使われる。

それとも…**前の内容と、あとの内容のどちらかを選ぶ**ことを表す
ときに使われる。

ところで…**前の内容から話題を変えるとき**に使われる。

【3】文章は素直に読もう

抽象的な事柄や、難しい事象について扱った文章では、何かとても
深遠なことを語った文章に違いない」という思い込みが働いてしまうの
か、文章に書かれた範囲を超えた〈深読み〉をしてしまう人がいます。

ですが、少なくとも論理的な文章においては、たいていの場合、その〈深
読み〉はその人の思い違いで、筆者はそこまでのことは言っていないこ
とがほとんどです。

筆者としては、読者に伝えたい考えや思い、知ってほしい事柄があつ
てその文章を書いているのですから、わざわざ、一読しても真意が伝わ
らず、深く深く読み込んで、推理して、はじめて意味がわかる、などと
いうようなまわりくどい表現は選びません。むしろ、できるだけすんな
り読者に伝わるように、表現を選んで書いているはずですよ。

ですから、文章は、むやみに裏の意味をさぐるのではなく、**言葉の意
味と文脈に即して、素直に読み進める**ことが大切です。その素直な読み
を前提として、さらに深く考える必要ができた場合に、もともとの読み
から離れすぎない範囲で、思考を深めるようにするとよいでしょう。

ポイント

文章を読む際の基本ルール

次のことを心がけて読むようにしましょう。

- 1 文と文、段落と段落といった、部分と部分のつながりを追って
読む
- 2 接続語を含む箇所は特に前後のつながりに注意して読む
- 3 自分勝手な深読みをせず、言葉の意味と文脈に即して素直に読
む

コラム 読解力アップ!

Q 文章の中にわからない部分があると、その部分ですつと立ち
止まってしまい、時間が足りなくなります。

A 前後の数行の内容を確認して、およその意味をとらえましょ
う。

文章を読み進めていって、わからないところが出てきたら、数行
前の部分に戻って、初めに読んだときよりていねいに読み直してみ
ましょう。それでもわからなかったら、少し先の方まで数行読んで
みると、およその意味が見えてきます。文章の中のことばや文、段
落は、すべて前後の内容とつながりを持っていますから、前後の内
容がつかめれば、こういうことを言っているはずである」とい
うことがほぼ決まるのです。一箇所に立ち止まって、そこだけを見て
考えるのではなく、全体の内容をとらえることを優先しましょう。

次のページで「例題」に取り組みましょう。

例題

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

問一 次の選択肢は、問題文の内容に合っていますか。合っているものには○を、合っていないものには×を書きなさい。

ア 紫外線や強い光は有害なものだから、植物の美しさには悪影響を及ぼす。

イ 植物は苦勞した分だけ魅力を増すが、それは人間にも当てはまるといえる。

ア

イ

問二 問一で「×」と答えた選択肢について、(i)選択肢の間違ってある部分に線を引き、(ii)問題文のどの部分と合わないのかがわかるように、問題文の中の該当する部分に印をつけなさい。

次のページで「解答解説」を確認しましょう。

解説

それぞれの選択肢で話題になっている内容が、問題文のどの部分に書かれているかを探しながら考えるようにしましょう。

アの話題は、「紫外線や強い光」と「植物の美しさ」の関係についてです。この話題は、問題文の2～3行目で説明されています。

紫外線や強い光という有害なものが多ければ多いほど、植物たちは色あざやかに魅力的になります。

ア 紫外線や強い光は有害なものだから、 植物の美しさには悪影響を及ぼす。
 ↓前半は合っているが、後半は合わない。

イの話題は、「植物の苦勞と魅力」と、それが「人間にも当てはまること」です。この話題は、問題文の3～6行目で説明されています。

植物たちは、逆境に抗して美しくなるのです。逆境に出会えば、苦勞しなければなりません。その苦勞をすることが魅力を増すことにつながるのです。

この理屈は、私たち人間の場合にも当てはまります。

イ 植物は苦勞した分だけ魅力を増すが、 それは人間にも当てはまるといえる。
 ↓前半も後半も合っている。

このように、問題を解くときに、「なんとなく」ではなく、問題文中に根拠を求めながら解くことで、文章の論理をたどる読み方が身につ

きます。

解答

問一 ア × イ ○

問二 (i) 紫外線や強い光は有害なものだから、植物の美しさには悪影響を及ぼす。

(ii)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

練習問題

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

注 *ツールⅡある目的を実現するための手だて。手段。

問一 傍線(1)とありますが、筆者は「スポーツ」をどのようなものだと考えていますか。最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。

- ア 勝つことを目指して懸命に努力し、喜びを得るための手段。
 イ 人間性を向上させ、人生をより楽しくしていくための手段。
 ウ 心と体の調子を整え、健康で楽しい毎日を送るための手段。

問二 傍線(2)とありますが、ここで言う「成長」とは、どのようなことになることですか。筆者の考えが最もよく表れている一文を文中から抜き出し、最初と最後の四字を書きなさい(句読点や記号も一字として数えます)。

最初Ⅱ

最後Ⅱ

解説

問一 「スポーツ」に対する筆者の考えが示されている部分を探します。傍線(1)を含む文に「人間性の向上や、より楽しい人生を創っていくためのツール」とありますね。この考えに合うのは、イです。

選択肢を手エック!

ア × 勝つことを目指して懸命に努力し、喜びを得るための手段。
人間性を向上させ、人生をより楽しくしていくための手段。

イ ○ × 心と体の調子を整え、健康で楽しい毎日を送るための手段。

ア 「勝つこと」だけをむやみに追い求めるのではなく」と書かれているのと合いません。ウは、一般的にはよく言われることですが、筆者はそうのように述べていないので、誤りです。

問二 傍線(2)で言う「成長」とは、その直前に書かれているように、(スポーツを通じて)「人間として」より成長するということですね。この主張について、第二段落で具体的に説明されています。第二段落の「……力を養ってほしい」という部分に着目します。「一文」という条件ですので、部分的に抜き出すのではなく、文全体(前の文の「」の直後から、末尾の「」まで)を抜き出しましょう。

解答

問一 イ

問二 最初Ⅱだからこ 最後Ⅱのです。

M · E · M · O

「要点」で学習した内容をふまえ、実際の問題にどのようにアプローチしていくかを見ていきましょう。

アプローチ

↳ 選択肢問題

国語に関する「選択肢問題」を解く際は、次の点に注意して取り組みましょう。

ポイント 「選択肢問題」を解く際の基本

- ・ 文と文、段落と段落といった、「部分」と「部分」のつながりを追って読む。
- ・ 接続語を含む箇所は、特に前後がどのようなようにつながっているかを考える。

この二点について、次の文章を読みながら考えてみましょう。

今回の文章

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

空欄Aに入る最も適切な言葉はどれでしょうか。

ア つまり イ だから ウ しかし エ それとも

まずは、次の作業を通じて前後のつながりを「見える化」しましょう。

手順1 空欄の前の内容をおさえる。

見える化しよう

動物や小鳥のさげび声や鳴き声、アリなどの小さな生物の動作……
たがいに合図しあい、連絡をとりあっている

↓本能的な敵の来襲にたいするおそれ……といった合図の意味あい

空欄の前の段落では、〈人間以外の動物〉について書かれています。

動物たちのさげび声、鳴き声などは、互いの合図、連絡の役割を持っており、これは本能的におこなっているものだ、と説明されています。

手順2 空欄の後の内容をおさえる。

見える化しよう

ことばは、人間が自分の感情や気持ちをつたえるために発する音声
↓人が生まれてから学習しなければならない性質のもの

一方、空欄の後では、〈人間〉について書かれています。

人間の世界のことばは、自分の感情や気持ちを伝えるためのものであり、人が生まれてから学習することで習得されるものだ、と述べられています。

手順3 空欄の前後がどのようにつながっているのかを確認する。

空欄の前後で、〈人間以外の動物〉と〈人間〉、それぞれの〃相手に情報を伝える手段〃が紹介されていることがわかりましたね。では、筆者はここで何を述べようとしているのでしょうか。整理してみましょう。

🔍 見える化しよう

○動物や小鳥のさけび声や鳴き声

〃 敵の来襲や食糧のありかを知らせる合図、連絡

・ 本能的なもの

↔ 大きなひらき（〃違い）がある

○人間の世界的ことは

〃 人間が、自分の感情や気持ちをつたえるために発するもの

・ 生まれてから学習しなければならぬもの

動物のさけび声は「本能的」なもの（〃生まれつき備わっているもの）であるのに対し、人間の「ことば」は「生まれてから学習」することによってその使い方を学ばなければならないものなので、これらは大きく異なっている、と述べられています。つまり、筆者は〈動物や小鳥のさけび声〉と〈人間のことば〉はまったく違うものだ、と考えているのですね。

手順4 空欄にあてはまる語を考える。

手順3までを通して、空欄の前では〈動物のさけび声〃本能的に使われる合図である〉ことが、空欄の後では〈動物のさけび声と人間のことばは異なる〉ということが述べられているとわかりました。そして、この両者を結ぶのが、空欄Aを含む文ですね。

A、人間の世界的なことが存在するとは考えられません。

この一文は、空欄前の〈動物〉に対して述べられたものです。動物にも、相手に情報を伝える手段〃があるとしながらも、それは人間の使うことばとは異なる、「人間のことば」と同じものは存在しないのだ、と言っているのです。よって、前の内容から考えて、あとの内容が当然ではないときに使う、ウ「しかし」を入れるのがよいでしょう。

ちなみに、ア「つまり」は、前の内容をあとで説明したり、わかりやすく言い換えたりするときに使う言葉です。イ「だから」は、前の内容があとの内容の「原因」や「理由」になるときに、エ「それとも」は、どちらかを選ぶときに使われるつなぎ言葉です。

⚠️ つまずき防止

空欄の前後の内容をとらえただけで満足してはいけません。どのように結びついているかまでしっかりと確認しないと、誤った選択肢を選んでしまう可能性があります。それぞれで述べられている内容を丁寧に確認し、結びつきの関係を正確に理解しましょう。

アプローチ

～記述問題～

国語に関する「記述問題」を解く際は、次の点に注意して取り組みましょう。

ポイント 「記述問題」を解く際の基本

- ・ 接続語などに注目し、文と文、段落と段落のつながりを意識しながら読む。
- ・ 言葉の意味を、文脈に沿って正確にとらえる。

この点について、同じ文章を読みながら考えてみましょう。

今回の文章

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

今回は、傍線「身ぶり手ぶりも言語の一種」ということができます」と筆者が述べる理由を、五十字以内で説明します。

まずは、次の作業を通じて理由を述べた部分を「見える化」しましょう。

手順1 接続語・指示語などに注目して前後の関係をとらえる。

🔍 見える化しよう

ことばがつうじない外国旅行や、外国人と話をするときのことを想像すれば十分でしょう。……手つとり早い方法として、身ぶりや手ぶり、表情などによって、**自分の考えを相手につたえる**ことがあります。……**「このように」**、ひろい意味に考えれば、身ぶり手ぶりも言語の一種ということができません。

傍線部を含む文の冒頭に「このように」とあります。これは、直前に述べられた内容を受けているので、まずはこの内容をとらえましょう。「このように」の直前では、ことばのつうじない外国人と話をする場合のことを話題にしています。ことばがつうじない場合には、**ことばの代わりに「身ぶりや手ぶり」で自分の考えをつたえる**ことができる**と述べられています**。

手順2 言葉がどのような意味で用いられているか、文脈をとらえる。

🔍 見える化しよう

わたしたちは、**ことばや文字をつかって気持ちや意思をつうじあい**、人間として成長してきました。

〔第一段落〕

ひろい意味に考えれば、身ぶり手ぶりも**言語の一種**ということができません。

傍線部にある「言語」と同じ意味あいの「ことばや文字」という言葉が第一段落にありますね。ここで、筆者は「人間は、ことばや文字によって、気持ちや意思をつうじあうことができる」と述べています。つまり、ことばとは、**自分の気持ちや意思、考えを相手につたえるためのもの**なのです。

このことをふまえると、「身ぶり手ぶりも言語の一種」といえるのは、身ぶりや手ぶりは、「自分の考えを相手につたえることができる」という点で、「言語」と同じ役割をもっているからだとわかりますね。

▼解答に必要な要素

- ①「身ぶりや手ぶり」が「ことば」と同じ役割を果たすことができる
：「身ぶりや手ぶり」の役割と「ことばや文字」の役割に〈同じ
ような点〉があると示す。
- ②自分の考えを相手につたえることができる
：「身ぶりや手ぶり」「ことば」が果たす役割が、どのような点で
同じなのかを明示する。

【解答例】

身ぶりや手ぶりなどによって、ことばと同じように、自分の考えを相手につたえることができるから。(46字)

練習問題

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

問一 傍線(1)とありますが、「ケシゴムノ悲シミ」という表現に対して、「ちよつと変な感じがする」のはなぜですか。「少女ノ悲シミ」「太郎サンノ悲シミ」という表現と比べながら、自分で考えて五十字以内で説明しなさい。

問二 筆者は、ことばの大切な働きとして二つのことがらをあげています。それぞれのよう働きをもっているのですか。文中の語句を使って、四十字以内で説明しなさい。

次のページで「解答解説」を確認しましょう。

解説

問一 「ケシゴムノ悲シミ」という表現について、「はじめはちよつと変な感じがする」と述べている理由を問う問題です。傍線部の直後での言葉について考察しているので、ここをていねいに読み進めましょう。

問題文の「」を見よう！

「少女ノ悲シミ」とか、「太郎サンノ悲シミ」とかであればすぐ分かりますが「ケシゴムノ悲シミ」はそうではありません。

「少女ノ悲シミ」「太郎サンノ悲シミ」という表現が「すぐ分かるのはなぜでしょうか。それは、「少女」や「太郎サン」は人間なので、「悲シミ」という感情とすんなり結びつくからです。

これに対して、「ケシゴムノ悲シミ」が「ちよつと変」なのは、普通に考えると、「ケシゴム」という「物」には、「悲シミ」なんていう感情があるはずはないと思えるからです。

つまり、「ケシゴム」は物であるということ、また、「悲シミ」が感情を表した言葉であるということ、この二点がポイントになります。「悲シミ」は感情であり、人間などの生き物が感じる気持ち、心の動きです。ですから、心を持っている「少女」や「太郎サン」の「悲シミ」という表現は、不自然なものではありません。しかし、「ケシゴム」は物であって、人間のような心があるわけではなく、したがって、感情もないと考えられます。それなのに、感情のない「物」であるはずの「ケシゴム」に、感情を表す「悲シミ」という言葉を結びつけたところが、「ちよつと変」なのです。

○つけのポイント

- ① ケシゴムは、少女や太郎サンのような「人間」ではない（物である）ということを示す。
- ② 物に「悲シミ」という感情を表す語を用いている点が「変」であるということを示す。
- ③ 文末の形は「から」「ので」「ため」などの〈理由であること〉を表す文末表現「+」になっているか。

問二 「働き」という言葉が第四段落で用いられていることに注目。この段落は〈ことばの働き〉について述べた部分だと考えられるので、この内容を読み取っていきます。

問題文の「」を見よう！

日常生活で、私たちはいろいろなことを頭で考えたり、心で感じたりします。……それを外へ表したいとか、他の人に伝えたい、と思うときには、ことばを使います。これはもちろん、ことばの大切な働きです。

「それ」「これ」という指示語の内容を正確にとらえましょう。「頭で考えたり、心で感じたりし」たことを「外へ表したいとか、他の人

に伝えたい」と考え、使うのが、「ことばの大切な働き」だと述べられていきますね。これが、一つ目の〈ことばの働き〉です。

続けて見ていくと、直後に「ことばはいつもすでにできあがったことを表したり、伝えたりしているだけではありません」とあります。「……だけではない」ということですから、この後に、そのほかの「ことばの大切な働き」がありそうですね。確認してみましょう。

問題文の(2)を見よう!

- ・ ことばがあることを先につくりだして、それを私たちがはじめて考えたり、感じたりするということも起こります。
- ・ 「ケシゴムノ悲シミ」という表現との出会いのあとでは、私たちはケシゴムのようなものとも気持ちが通じると感じ……私たちがケシゴムが……仲間になってくれるような新しい世界へ導き入れられたのです。

←
ことばは私たちの日常の世界のことがらを表したり、伝えたりするだけでなく、自分で新しい世界を生みだしていく力を持っています。

「ケシゴムノ悲シミ」というちよつと変な言葉は、私たちにケシゴムの気持ちを想像させ、ケシゴムと気持ちを通じさせることのできる新しい世界に私たちを導いてくれるんですね。つまり、「ケシゴムノ悲シミ」ということばが、それまで知らなかった新しい考え方・感じ方をもたらし、人間とケシゴムが仲間になれるような新しい世界を生みだしたわけです。この〈ことばが私たちに新しい考え方・感じ方をもたらす〉というのが、二つ目の〈ことばの働き〉です。

なお、「私たちの日常の世界のことがらを表したり、伝えたりする」は、先にみた「ことばの大切な働き」の一つ目の内容です。自分の考

えたことだけにとどまらず、「日常の世界のことがら」も「他の人に伝えたい」ことに含まれるのですね。

以上をふまえて解答をまとめましょう。

○つげのポイント



① 働きの一つとして、「考え・日常の世界のことがらを表したり伝えたりする」という内容を示しているか。

- ・ ① 日常の世界のことがらや考えたことを外に表したり、他の人に伝えたりする働き。

- ・ ② あることをことばで表すことにより、私たちに新しい考え方や感じ方をもたらす働き。



② もう一つの働きとして、「ことば」自体が、「私たちに新しい考え方・感じ方」を与えると示しているか。

解答

問一 「少女」や「太郎サン」とちがって、物であるケシゴムには「悲シミ」などの感情はないはずだから。(46字)

問二 ・ 日常の世界のことがらや考えたことを外に表したり、他の人に伝えたりする働き。(37字)

・ あることをことばで表すことにより、私たちに新しい考え方や感じ方をもたらす働き。(39字)

※順不同

今回は、記述問題にしぼったトレーニングに取り組みましょう。
記述指導に長年の実績があるZ会が、独自のプログラムで、差がつかく記述力を鍛えます。

例題

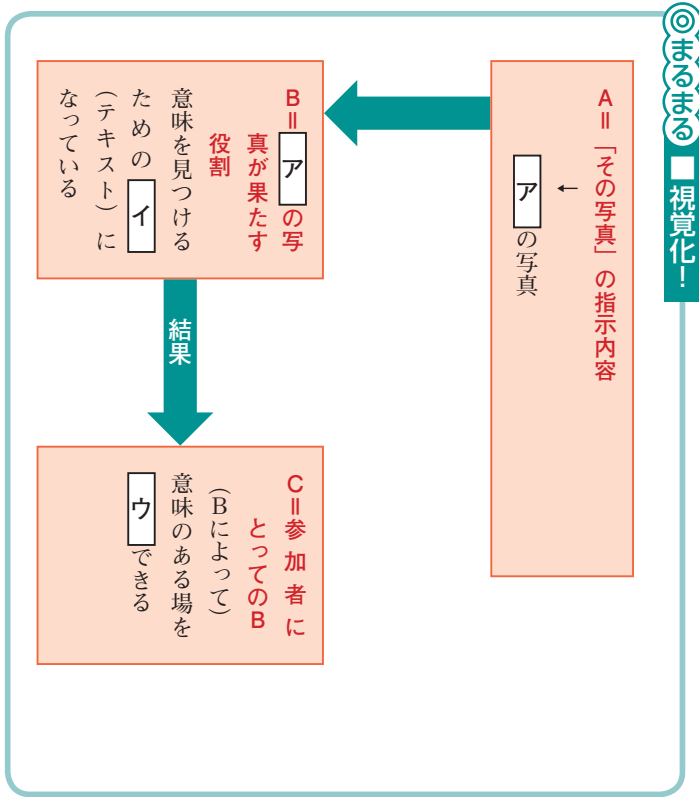
次の問題文を読んで、あとの問に答えなさい。

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

問題文の内容を図で整理しよう

問 次の図「まるまる視覚化！」の空欄に最適な言葉を文中から抜き出して書きなさい。



ア

イ

ウ

解答

ア 二枚 イ 素材 ウ 共有

記述問題に挑戦

問 傍線部「学生たちの会話は活発になり、間違いなく場が盛り上がっていく」のはなぜか、六十字以内で説明しなさい。

※ 「まるまる視覚化！」を参考にしよう

次のページでポイントを確認しましょう。

解答解説

以下の順に、記述に必要なポイントを確認していきましょう。

- ポイント① Aの要素は書いているか
- ポイント② Bの要素は書いているか
- ポイント③ Cの要素は書いているか
- ポイント④ 解答の骨組みをおさえているか
- ポイント⑤ 文末表現は適切か

ポイント① Aの要素は書いているか

「まるまる視覚化！」のAについての指示内容を明確にできているか見ていきましょう。

「その写真」が「二枚の写真」であることを示す

例 二枚の写真は

例 見せられた二枚の写真は

ポイント② Bの要素は書いているか

ポイント①に続き、「まるまる視覚化！」のBについての説明がきちんとできているか見ていきましょう。

a 意味を見つけるための

b 「素材（テキスト）」になっている

例 意味を見つけるための「テキスト」になり

例 意味を引き出す「素材」になっている

ポイント③ Cの要素は書いているか

ポイント②に続き、「まるまる視覚化！」のC部分についての説明がきちんとできているか見ていきましょう。

a 参加者は

b 意味のある場を

c 共有することができる

例 参加者は意味のある場を共有することができた

例 学生たちは意味のある場を共有することができた

ポイント④ 解答の骨組みをおさえているか

解答の基礎になるのは、傍線部の次の段落である「なぜなら……からだ。」の内容です。この内容に説明として必要な要素を付け加えると骨組みになります。これが「まるまる視覚化！」のAからCへの流れです。この骨組みをおさえているか、自分の解答をチェックしましょう。

解答解説

ポイント① A 「その写真」の指示内容の要素は書けているか

↓△不足あり

解答に指示語を含む場合はその指示内容を明確にして説明することが記述問題での基本的なルールです。ここでは「その写真」が「二枚の写真」であることを明示する必要があります。

ポイント② B (二枚の写真が果たす役割)の要素は書けているか

- a 意味を見つげるための○
- b 「素材(テキスト)」になっている↓○

↓○問題なし

「意味を見つげるための『素材』になっている」という説明で、Bの要素である二枚の写真が果たす役割をしっかりとらえています。

ポイント③ C (参加者にとつての二枚の写真が果たす役割)の要素は書けているか

- a 参加者は↓○
- b 意味のある場を↓△
- c 共有することができる↓△

↓△不足あり

「学生たちが意見を出すときに」の部分でCの参加者側からの説明をしています。参加者にとつての二枚の写真的果たす役割を説明できていません。

ポイント④ 解答の骨組みをおさえているか

- A 二枚の写真は↓○
- B 意味を見つげるための素材になり↓○
- C 参加者は意味のある場を共有できる↓△

↓△不足あり

「その写真は」がAの説明、「意味を見つげるための『素材』になっている」がBの説明と理解できますが、Cの「参加者にとつての二枚の写真が果たす役割の説明」が欠落しています。

ポイント⑤ 文末表現は適切か

↓○問題なし

「〜から。」と理由を述べる表現でまとめているため文末表現は適切です。

M · E · M · O

「一貫標準」の問題です。

一

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

(50点)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

注 *ナフタリン⇨ナフタレン。化学物質の一つで防虫剤に用いる。

*バラレリズム⇨類似。

*寓話⇨教訓や風刺を盛り込んだたとえ話。

*アレゴリー⇨たとえ話。

*雑駁⇨入り混じってまとまりのない様子。

問一 傍線(a)～(d)の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直して書きなさい。(各2点)

問二 傍線(1)と同じ用法の「ない」を波線A～Dから一つ選び、記号を書きなさい。(4点)

問三 傍線(2)がありますが、この部分と同じような内容を述べている一文を探し、その最初の五字を抜き出して書きなさい。(6点)

問四 傍線(3)「子供の心を失わずに……呼ぶ能力」とありますが、これはどのような能力のことですか。最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。(6点)

- ア 豊かな創造性を発揮して、おもしろい表現を生み出す能力。
- イ 既知の言葉が少ない分を、類似する知識を駆使して補う能力。
- ウ 柔軟な発想力を武器にして、既存の表現を批判する能力。
- エ 多くの言葉を習得した上で、最も適切な言葉を選択する能力。

問五 傍線(4)とありますが、「子供のとき」と「人類の歴史の幼児期」において比喩的表現を用いることが多いのは、両者の特徴にどんな共通点があるからですか。「……点。」に続くように、適切な言葉を文中から三十字以内で抜き出して書きなさい。(6点)

問六 傍線(5)とありますが、これはどういう表現ですか。具体例を用いずに、五十文字以内で説明しなさい。(12点)

問七 問題文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号を書きなさい。(8点)

- ア われわれは、比喩を用いて新しい言葉を作ることにエネルギーを浪費するのではなく、すでにある言葉をうまく用いることを心がけるべきである。
- イ われわれは、大人になると子供のときのような詩的な表現ができなくなりがちなので、散文を書く際にも、新しい表現を作り出していくべきである。
- ウ われわれは、細かい表現を知っているため、抽象的なことを表す際にも比喩を用いずに表現することができるが、より具体的な表現のためには比喩を使うことを敬遠すべきではない。
- エ われわれは、普段あたり前に使っている言葉が比喩表現であることを意識し、失われつつある創造性を取り戻し、豊かな言語活動をおこなうべきである。

M · E · M · O

「一貫発展」の問題です。

一

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

(50点)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

綽名など問題にならないと考えられやすいが、綽名もつけられないような頭では、新しい発見などおぼつかない^Cということもできる。子供は綽名をつける名人だが、それだけ創造性が豊かだということになるかもしれない^D。大人にはスピードをスピードと呼ぶ散文的言語の使用が多い。詩人は³子供の心を失わずに、ものごとを新しい綽名²⁵で呼ぶ能力にめぐまれた精神の持ち主だと考えることができる。

⁴子供のときに活発におこる比喩的言語の使用は、人類の歴史の幼児期においても見られるはずである。個体発生と系統発生の*パラレリズムはここでも^b妥当するように思われる。どこの国の言語でも古い時代には比喩的表現が多い。ひとつの事物をひとつの比喩語で表現するといった^cシヨウキボなものではなくて、説話全体が比喩的性格のものであることもすくなくない。³⁰*寓話とか*アレゴリーといわれるジャンルがそれである。神話には、文字通りに解することができない多くの物語が含まれているものだ。

やはり、言語表現の手段が限られており、分析の方法が未発達である段階では広義の比喩が、認識と表現の第一原理にならなくてはならないことを物語っている。言語が整備されて、³⁵あるがまま³⁵を表現するリアリズムが尊重されるようになると、直観的で*雑駁^{まろぼく}なところをもっている比喩が敬遠されるようになる。子供のとき詩的な表現をしていたのが、大人になると、なまじ細かい表現を知っているために、感動もなく言葉を使う散文しか書けなくなってしまうのに通じる。

「時の流れ」という言葉の「流れ」はやかましくいえば、比喩であ

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

注 *ナフタリン⇨ナフトレン。化学物質の一つで防虫剤に用いる。

*バラレリズム⇨類似。

*寓話⇨教訓や風刺を盛り込んだたとえ話。

*アレゴリー⇨たとえ話。

*雑駁⇨入り混じってまとまりのない様子。

問一 傍線(a)～(d)の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直して書きなさい。(各2点)

問二 傍線(1)と同じ用法の「ない」を波線A～Dから一つ選び、記号を書きなさい。(4点)

問三 傍線(2)とありますが、この部分と同じような内容を述べている一文を探し、その最初の五字を抜き出して書きなさい。(6点)

問四 傍線(3)「子供の心を失わずに……呼ぶ能力」とありますが、これはどのような能力のことですか。最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。(6点)

- ア 大人になると失いがちな創造性を持ち続けることによって、比喩表現を巧みに用いたおもしろい表現を生み出す能力。
- イ 新しい言葉を増やすことをあえて避け、すでに知っている言葉のみを駆使することによって、思い通りの表現を作る能力。
- ウ 柔軟な発想力を武器にすることによって、大人が多く使用する散文的言語の問題点を鋭く指摘し、批判する能力。
- エ 子どもには持ちえない多くの言葉を習得した上で、その中から最も創造性に富んだ言葉を選択し、用いる能力。

問五 傍線(4)とありますが、「子供のとき」と「人類の歴史の幼児期」において比喩的表現を用いることが多いのは、両者の特徴にどんな共通点があるからですか。「……点。」に続くように、適切な言葉を文中から三十字以内で抜き出して書きなさい。(6点)

問六 傍線(5)とありますが、これはどういう表現ですか。具体例を用いずに、五十文字以内で説明しなさい。(8点)

問七 問題文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号を書きなさい。(8点)

- ア われわれは、比喩を用いて新しい言葉を作ることエネルギーを浪費するのではなく、すでにある言葉をうまく用いることを心がけるべきである。
- イ われわれは、大人になると子供のときのような詩的な表現ができなくなりがちなので、散文を書く際にも、新しい表現を作り出していくべきである。
- ウ われわれは、細かい表現を知っているため、抽象的なことを表す際にも比喩を用いずに表現することができるが、より具体的な表現のためには比喩を使うことを敬遠すべきではない。
- エ われわれは、普段あたり前に使っている言葉が比喩表現であることを意識し、失われつつある創造性を取り戻し、豊かな言語活動をおこなうべきである。

M · E · M · O

解答用紙

禁無断転載



この答案の添削有効期限は

です。

※解答は、濃く、はっきりと記入ください。

中学国語スタート！
添削問題 1

1/2枚目
PLT1A1-S1D1

総得点
31 / 50

1 PLT1A1-S1C1

「だとう (妥当)」

1
4 / 8

問一

(a) 偶然

✓
そうとう

✓
小規模

(d) かいむ

「小規模」

2
0 / 4

問二

C

C 「おぼつかない」⇨「おぼつかない」という一語の形容詞で、「ない」はその一部です。

「ない」の識別問題の際には、まず「ない」を打ち消しの助動詞「ぬ」に置き換えてみましょう。「ぬ」に置き換えられるものは〈打ち消し〉の意味をもつ助動詞の「ない」です。

3
0 / 6

問三

あまりうれ

普遍性とは〈どんな場合にも通用し、あてはまる性質〉のことです。説明文によく登場する語ですので、その使われ方を理解しておきましょう。

4
6 / 6

問四

ア



「子供の心」がどのようなものなのかを傍線部前の内容から読み取って、正しい選択肢を選びました。

文章をしっかりと理解でき
るようになりたいです。

難しかった問題 [問六]

添削者より

綽名(あだ名)や死せる比喩の話から、筆者が比喩についてどのよう
な考えを持っているのかを読み
取る必要がある文章でしたが、最
後までがんばって取り組むことが
できましたね。難解な文章でも繰
り返し読むことで理解が深まりま
す。次回も頑張ってくださいね。

添削者名
三島

5
8/6
問五

言語表現の手段が
分折の方法が未発達
で、あり、

点。

誤字「析」

-1

第六段落に注目して共通点を探すことができています。「人類の歴史の幼児期」にお
いて生まれた「神話」や「寓話」は、それ自体が一つの比喩となっていたといえるの
ですね。

6
8/12
問六

長さの単位は尺、
比喩の単位は、
現比喩の単位は、
現比喩の単位は、

〈注〉句点をつけましょう。

-4

「死せる比喩表現」の例である「フイート」の説明をした五十二から五
十三行目に着目。〈原義を思い浮かべない〉という〈言葉に対する人々の
意識〉を説明します。

■ □ 要素ごとの出来をチェック

- ① 「本来は比喩」という〈「死せる比喩」の最初の成り立ち〉をおさえられたか。↓○
- ② 「今では原義を思い浮かべることもなく」など、〈「死せる」とする理由〉を〈言葉に対する意
識〉からおさえられたか。↓×
- ③ 「だれもが比喩であるとは意識せずに使っている」など、〈「死せる」とする理由〉を〈言葉の
使い方〉からおさえられたか。↓○

7
8/8
問七
エ



おもしろい綽名はかなりの創造性が秘められており、綽名名人は創造性が豊かだと述べて
います。ここにも筆者の「創造力を磨くためには比喩を比喩として意識して使う必要
性」があるという主張が表れています。